



# おおあらい

Vol.409



昔ながらのカルメ焼きに興味津々（あんこう祭会場にて）

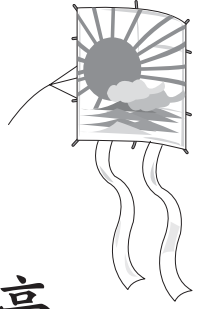
**特集**

平成17年度町政懇談会 ..... P.3・4

**Index**

新年ごあいさつ .....	P.2
子どもの安全をどう守る .....	P.5
税を知る週間 .....	P.6
大洗海の大学1月のカリキュラム.....	P.7
くらしの情報 .....	P.8~11
まちのできごと .....	P.12・13
みんなのひろば .....	P.14・15





# 謹んで新春の およろこびを申し上げます



大洗町長 小谷隆亮

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、町民の皆様のおたたくいご支援とご協力をいただき、町政を執行できましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

昨年わが町においては、フェリー就航20周年を記念したイベントの実施、クルーズポートとして客船「つぼん丸」の初入港、多くの方々を熱くさせた夏のイベント、第一中学校教科教室型の新校舎完成、さらには、南中学校の取り組みがNHKを通じ全国に放映され、結果、県外からは非大洗町で子供を教育させたいという嬉しい声も届くなど、町全体が活気に満ちた一年でありました。

特に、11月に開催されたあんこう祭では、会場をサンビーチ芝生公園から曲松及び永町商店街に移し、本年3月オープンのアウトレットモールに来るお客様を新たな発想でいかに既存商店街へお迎えするか、そのきっかけづくりを期待しイベントの展開を図りました。各商店の皆さんにおいては、既定の概念にとらわれることなく趣向を凝らし、さらには異業種にもチャレンジしていただき、商店街は今までにないほどの多くの来遊客で賑わいました。

しかし一方では、諸産業の状況は必ずしも好転したとはいえず、自然環境とは申せ漁獲不良や水産加工業など厳しい状況でありました。

今後さらに、地場産業の活性化を図るため、そ菜の担い手育成、農林水産業のブランドづくりや水産業においても作り育てる環境づくりに尚一層力を注いで参ります。

国における三位一体改革が進むなか、今日まで真剣に取り組んでまいりました行財政改革をさらに推し進め、既存の概念や枠組みを大胆に見直し、行財政の効率化をはかりつつ、町民の皆様が健康で、安全・安心な生活ができるまちづくりを進めていくことが、時代の大きな転換期に町政を付託された私の使命であると認識し、職員共々一丸となって取り組んで参る所存で

あります。

今年には、世界遺産を持つ栃木県日光市と連携し、クルーズポートとしての機能を高めて大洗港に客船の誘致や、国際社会に向けて青少年の育成に夢と希望をのせて、スウェーデン王国ニイシヨールピング市と友好都市の締結調印を予定しております。また、十月には全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき」が県内六ヶ所で開催され、本町もその開催地の一つとして積極的に取り組んで参ります。教育の面につきましては、小学校に於いても英語指導助手を配置するなど国際感覚の習得に努めます。産業面では、地元の皆様が実感として地域振興に触れていただくためにも、地産地消の取り組みや異業種間交流、さらには、年間150万人から200万人は訪れるであろうリゾートアウトレットモールのオープンを控え、これを大きなビジネスチャンスとして周辺に物産館づくりや中心市街地活性化等、一体的なまちづくりを展開するほか、主要道路、駐車場の整備を図り、渋滞緩和への取り組みにも意を用い、又、新たな発想と創造で来遊客を町内各所に誘導できる施策を推進して参ります。

さらには、高齢者がもつ知恵と経験を次代につないでいけるようなコミュニティをつくり、一歩進んだ子育てサポートや介護サービスなどの充実を図り、保健・予防・医療・福祉の連携により、若い人からお年寄りまで、いきいきと元気に暮らしていけるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

今まで以上に多くの方々が訪れることが予想される本年こそ町にとって大切な時であります。いかに交流人口を増やして地域の元気づくりにつなげていくか、町民一体となった取り組みの重要性が問われる年であり、皆様とともに力を合わせ、まちづくりを進めて参りましょう。

町民の皆様には、引続き町政発展のため尚一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

おわりに、皆様のご多幸を心から祈念いたしまして

# みなさんの声をまちづくりに活かします

## 町政懇談会を町内18会場で開催

身近なことから町の将来に関することまで、幅広く意見を交換する町政懇談会が11月7日から12月8日まで開催されました。その一部を抜粋し、要約してお知らせいたします。



### 安全・安心なまちづくり

学校の不審者対策も含めて、まだまだ安全・安心なまちづくりができていないように思う。自警団活動を全町的に展開できないか。

安全・安心なまちづくりの取り組みの一つとして、防犯協会や防犯サポーターの方々や毎日パトロールをして取り組んでいる。さらに安全安心のまちづくりを強化すべく、全町的に自警団組織を展開できるように取り組んでいく。

アウトレットができる150万人から200万人の来客が見込めるということだが、町の安全対策はどうなっているのか。

車両や人の流れがスムーズに流れるように、現在、県や関係機関とともに道路整備や駐車場整備などの交通体系の整理を進めている。防犯については、手薄な大洗交番に



生徒の安全確保のため学校正門へ立哨

### 教育について

増員していただき、防犯体制を強化するよう警察にもお願いしていく。地域の安全は、地域の方々の協力を得ながら町内組織で取り組んでいきたい。

町内の学校にいろいろな意味で競争させるような取組みが必要ではないか。そのような取組みを通して子供たちの学力向上に繋げては。

現在、各学校から教育委員

会に様々な学校活動の結果報告を受けている。子供たちを競争させながら伸ばすことは大切であり、学力向上に繋がるよう取り組んでいる。

最近の青少年犯罪の異常・残虐・短絡的な事件は、何が原因なのか。また、このような犯罪を防ぐために学校ではどのような教育をしていくのか。

教育の基本は家庭教育にある。戦後60年で、家庭内のコミニティーが大きく変わっており、マスメディアの影響などもあるが、まずは親がしっかりしないといけない。

学校では、7泊8日の通学合宿を実施している。親離れすることを身をもって体験し、人間関係の構築や集団での生活を学ぶことが大切だと考えている。

### 少子化対策や合併

福祉行政については、高齢福祉等も大切であるが少子化対策の施策の展開を図ってほしい。

少子化対策として町独自の施策を展開している。

その一つとして、浜っ子すこやか報奨金制度では、第3子目以上の児童を養育しているご家庭に就学時現金10万円の支給や父子家庭の就学前の児童第1子に5万円、第2子以降に2万5千円の商品券を支給している。マル福制度では、従来の外来自己負担に併せて乳幼児に対する入院・食事療養の自己負担を無料として取り組んでいる

### 市町村合併について

旭村との合併がなくなつてからは、議会とともにも単独で歩いていく方向で取り組んでいる。財政力をみても今のところ独立して歩いていけると考えている。当面は平成の大合併の歪みをしっかり見極めて対応していきたい。



通学合宿開講式



## 商業等の活性化

アウトレット建設のメリットと、商店街とのつながりはアウトレットは町の中心部に建設されるので、商店街とも一体化できる。これまで水戸や周辺に買い物に出かけていた若い女性が今後は町内で買い物ができ、年配の皆さんはこれまでどおり商店街で買い物をするという購買形態に代わるのではないかと期待している。商店街にも若い方にターゲットを絞って取り組んでいただいたり、空店舗や空地なども活用していただきた

い。今後はたらしやみつ団子などを使ったコナモン商店街など、集客に意を用い150万からの来客を上手く商店街に引き込めるよう努力したい。

アウトレットの駐車場が道路を挟んで海側と陸側に出るらしいが、陸側から交差点を下がれば交通事故の心配があるのでは。

夏のシーズン以外は海側の駐車場を使う。科学館の下に道路を作つてその下にも駐車場を作り安全性を確保する。夏のシーズンは陸側も使い、サンワ電機さん脇の駐車場も公共で使えるようにして商店



H18.3月オープンに向け、着々と建設が進むリゾートアウトレットモール

街にも行けるように考えている。信号や交差点の改良も水戸署と検討している。

町には鬘釜、寺釜など塩炊きの釜の地名が残っている。自然食品の塩（海から作られた塩）を製造する施設を作り、ブランド化やその施設への観光や見学会を行つてみてはどうか。

杏林大学医学部が研究した結果、親潮黒潮の節目の海水は良いらしい。

以前五反田に塩つくりの工場があり、その塩は、体のバランスがよくなるらしく2万円ほどの高額がついていた。健康志向の現在、大洗で製造しブランド化できたら良いと思う。

## 国際交流

スウェーデン（ニイシヨールピング市）と友好都市締結したら、それで終わりとならないように原子力施設の力をかりて発展するようにしてもらいたい。

スウェーデンの話は原子力関連のスタズビック社というところから持ち上がった。

日本原子力研究所と核燃料

サイクル開発機構が統合して、FBR、HTTR、JMTRなどの研究において、世界のトップランナーであり、国際会議なども頻繁に開かれている。国際交流協会を立ち上げて、町民も交えての交流会ができれば良いと思つている。

## 生活環境整備

町の震度は原子力施設内の震度計と見比べて公表しているのが。

震度計は、原子力施設内と消防署の敷地内にあり、震度は同じ数値が出ている。

先日の大きな地震で、他の市町村と差が出たが、大洗町の地盤は岩盤になっているのであまり震度がふれないようだ。

観光地としては町内に案内板が少ないのではないかと。もつと町内のきめ細かい案内ボードが必要では。

歩行者用の案内板が必要と考えている。自動車から歩行者からも見やすいよう工夫して検討したい。

大貫台地の計画と現在の動



きは70ヘクタールは買収済みである。現在は、3分の1の平らなところを優先的に手掛け緑地公園計画の手続をしている。

民地に枯れ草が目立つが、地主に対して町から刈り取りのお願いをしているのか

消防本部より適宜指導をし、協力をお願いしている。しかし、消防本部で確認できていないところなどは、地域並びに地主の協力を得ながらお願いをしていく。

杉ノ下線が整備され道路環境が良くなり感謝しているが、防犯灯が整備されていないので設置願いたい。

杉ノ下線は茨城県管理の道路なので、防犯灯設置については既にお願ひしてあり、防犯灯ではなく街路灯で設置することになっている。年度内にとりあえず数箇所設置される予定である。

子どもの安全どう守る

# 『不審者情報を共有化』

登下校の安全対策急務  
守るのは、やはり地域

## 関係者集め「防犯対策連絡会議」

小学生が犠牲になる殺人事件が相次いでいるのを受け、町は去る12月9日、大洗文化センター・大会議室において防犯対策連絡会議を開きました。会議には、大洗町防犯連絡員協議会（小谷隆亮会長）、自警団員、町内の



防犯対策連絡会議

小・中学校校長、PTA役員、青少年相談員、行政、教育関係者ら約80名が出席。小谷会長は、昨今の連続少女殺害事件に触れ「地域を取り込んだ児童の安全確保や町全体の防犯対策を強化し、関係機関の情報の共有化が必要」とあいさつしました。

又、水戸警察署生活安全課の深川課長から、「大洗町の街頭犯罪状況や少年非行の実態、出会い系サイトによる犯罪から自分の身を守るために」と題して講演をいただきました。

続いて、地域で活動している大洗町防犯サポーターの山口忠夫隊長、東光台地域自警団の橋本一誠団長、町青少年センター相談員連絡協議会関根正治会長からそれぞれの活動報告や問題点が指摘され、各学校の校長からはそれぞれの学校における



登下校時の児童の安全確保態勢についての報告があり、その中で、児童を犯罪から守るためには地域ぐるみの対策が必要で、学校や家庭で児童の単独行動の実態把握や地域安全マップを作成し、死角になっている場所や危険箇所を子どもの目線で確かめることが必要との要望がありました。

今後の対策としては、登下校時に合わせ、警察、行政、学校、PTA、防犯連絡員、自警団及び地域が一带となり、パトロール等を強化する一方、不審者情報を共有し、警戒を呼びかけることで、参加者全員の意見が一致しました。



# 税を知る週間

## 中学生の税に関する 標語・作文入賞おめでとう

国税庁・全国納税貯蓄組合連合会では、税の仕組みや使い道などを正しく理解してもらおうと、税に関する標語・作文を募集しました。

本町の中学校からは、標語に第一中学校から、77編、南中学校から83編、作文に第一中学校から3編、南中学校から50編の応募があり、審査の結果、標語が6編、作文が2編が入賞しました。



後列 宮本大平さん、高橋佑輔さん、倉田亘さん  
前列 一家宇蘭さん、植田奈菜さん



小野瀬由佳さん、大作祐美さん、小野瀬大樹さん

### 標語

関東信越国税局長賞

やってるよ 私も納税 消費税

第一中学校 3年 一家 宇蘭

水戸税務署長賞

納税は 大人の世界の 身だしなみ

第一中学校 2年 宮本 大平

知る事が 税への意識 使い道

南中学校 1年 小野瀬大樹

水戸国税モニター会長賞

よい暮らし よい環境を 納税で

第一中学校 3年 植田 奈菜

大洗町長賞

納税で 活力あふれる 街づくり

南中学校 2年 大作 祐美

大洗町教育長賞

みつめよう 未来の暮らし この税で

第一中学校 3年 倉田 亘

### 作文

水戸地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

「身の周りの税金について」

第一中学校 3年 高橋 佑輔

「税とこれからの日本」

南中学校 3年 小野瀬由佳



# 大洗海の大学1月カリキュラム

## 「浜辺アート教室」



- 内 容 「海賊染め」海藻のカジメを使った染め物教室 「海藻押し葉づくり」大洗で獲れる海藻を使ってしおりやはがきに模様をつけてマイしおりやマイはがきを作ります  
「お魚マグネットづくり」紙粘土を使って海の生き物などを作ります
- 日 時 1月15日(日) 9:30~15:00
- 参加費 海賊染め 1000円~2000円、海藻押し葉 300円、お魚マグネット 300円
- 開催場所 大洗海の大学 研修実習室
- 対 象 どなたでも参加できます。 持ち物 エプロン

## 「水族館ナイト探検」

- 内 容 昼間の水族館と夜間の水族館の両方が体験できます。夜の水族館では、イルカが寝ていたり、夜行性のウツボが活発に動いていたり昼間ではみられない面があります。
- 日 時 1月21日(土) 整理券を14:00に水族館で配ります。  
探検開始時間 19:00~20:30  
開館時の入場・見学は各自、自由となります。
- 参加費 大人1400円、小中学生700円、幼児(3歳以上)300円
- 開催場所 アクアワールド大洗
- 対 象 どなたでも参加できます。50名【最小催行人数 10名】
- 持ち物 筆記用具

## 「とんぼ玉教室」

- 内 容 とんぼ玉とは中心に穴のあいたガラス玉の総称です。海岸に流れ着いたものや貝殻とのコラボを楽しみながら、自分のオリジナルを作ることができる教室です。
- 日 時 1月22日(日) 9:30~12:00
- 参加費 2,000円/1名 材料費込
- 開催場所 大洗海の大学研修実習室
- 対 象 どなたでも参加できます。10名(小学生は保護者同伴)
- 持ち物 エプロン



## 「貝あわせ教室」

- 内 容 大洗特産の大ハマグリ貝殻に季節の絵柄を描き、平安の雅な世界に想いをはせることができる教室です。毎月1回、継続して受講できる講座です。
- 日 時 1月25日(水) 13:30~16:00
- 参加費 1,500円/1名(初回は2,000円)
- 開催場所 大洗海の大学 研修実習室
- 対 象 どなたでも参加できます。30名 持ち物 エプロン

## 「冬の星空観察」



- 内 容 今回のキャンパスは空です。冬の澄んだ空気の中、無数の星を観察する講座です。寒い中観察していただくので、海の大学特製の温かいつみれ汁とおにぎりをご用意してお待ちしております。
- 日 時 1月29日(日) 18:00~20:30
- 参加費 500円/1名(つみれ汁、おにぎり込み)
- 開催場所 大洗海の大学・キャンパス敷地内
- 対 象 小学校4年生以上 30名(小学校3年生以下は保護者同伴)
- 持ち物 防寒具



NPO 法人 大洗海の大学

〒311-1311 茨城県東茨城郡大洗町大貫町1212-57

大洗町体験活動交流センター内

TEL 029-266-3322 FAX 029-267-5417

E-mail umi@anco-oarai.org URL <http://www.anco-oarai.org>

## 申し込み方法

すべてのカリキュラムについて、随時受付を行っております。

電話・FAX・Eメールでお申し込み下さい。尚、定員になり次第締め切ります。